

(様式 1-3)

潮来市復興交付金事業計画 復興交付金事業等個票

平成 27 年 1 月時点

※本様式は 1-2 に記載した事業ごとに記載してください。

N0.	4	事業名	日の出地区市街地液状化対策事業		事業番号	D-19-3
交付団体		潮来市	事業実施主体 (直接/間接)		潮来市	
総交付対象事業費		10,524,930 (千円)	全体事業費		10,524,930 (千円)	
事業概要						
〈事業概要〉 ①. 現事業経緯 本事業は、日の出地区内の街路について市街地液状化対策事業として、下記の事業を実施することにより、先行して実施する日の出地区幹線道路液状化対策事業とともに、地区全体が再び同様の震災に見舞われた場合の影響の抑制を目的として、第 4 次、第 7 次の復興交付金を受けて実施する。 ・対策工法は「地下水位低下工法」とし、地下水を地表面から 3m 程度まで低下する。 ・道路内に幅 1m 深さ 3m 程度の碎石層を造り、この下端に有孔管を埋設する地下水排水溝を整備する。 ・地下水排水溝が流末となる幹線水路よりも低い位置となる箇所にマンホールポンプを整備する。 ・地表面から 3m よりも深い地層に残る液状化層で液状化が発生した場合に、その影響が地表面に顕れる危険性を抑制するため、碎石路床を 0.5m の厚さで整備する。 [対象路線] ・市道 149 路線 (延長約 33,300m、幅員 6m~8m、マンホールポンプ 3 箇所) ②. 第 11 次申請事業概要 本事業は、第 7 次の復興交付金を受け、平成 26 年度までの事業として、測量・設計を経て、全体を 19 個の工区に分割発注し、順次、進捗している所であるが、流末となる幹線水路、ポンプ場他を整備する幹線道路液状化対策事業との工程調整等により、現在、平成 27 年 12 月の工事完了を目標に進捗している状況にある。 〈復旧・復興の方針〉 ・「将来発生する可能性のある大規模地震を想定して、揺れや液状化の影響を抑える整備を進める。」(「潮来市震災復興計画」p.5「(1)市民生活を支える都市基盤施設の復旧と復興」に記載。)						
当面の事業概要						
		〈平成 24 年度〉	〈平成 25 年度〉	〈平成 26 年度〉	〈平成 27 年度〉	
本工事費	C1=	-	C1=1,485 百万円	C1=5,092 百万円	C1=1,887 百万円	
測量設計・施工管理費	C2=	-	C2= 504 百万円	C2= 281 百万円	C2= 401 百万円	
用地及び補償費	C3=	-	C3= 219 百万円	C3= 656 百万円	C3= -	
合 計	Σ C=	-	Σ C=2,208 百万円	Σ C=6,029 百万円	Σ C=2,288 百万円	
東日本大震災の被害との関係						
日の出地区については、市の優良住宅地として発展してきたが、今回の震災で液状化により地区全体(面積 196ha)で 2,400 戸を超える住宅で沈下や傾きによる被害を受けた。被災前約 6,350 人いた人口も減少しており、同地区の定住化を促進し速やかな復興を進めるためには、安心・安全なまちづくりが必要である。						
関連する災害復旧事業の概要						
日の出地区災害復旧事業	道路災害復旧事業	149 路線 約 33.3 km				
	下水道災害復旧事業	約 21.6 km				
	水道災害復旧事業	約 33.6 km				
	その他災害復旧事業	小学校、中学校、公民館				

※効果促進事業等である場合には以下の欄を記載。

関連する基幹事業	
事業番号	
事業名	
交付団体	
基幹事業との関連性	